



HIGASHI OSAKA MIDORI R.C

IMAGINE
ROTARY

CLUB WEEKLY

国際ロータリー第2660地区
東大阪みどりロータリークラブ

創 立 1998年9月24日
会 長 田 村 嘉 宏
幹 事 井 上 善 博
会報委員長 表 孝 典

2022-11-17 (第1029回)

今週のプログラム

≪11月17日(木)例会 KKRホテル5階「瑞宝」≫

◎卓 話 「新入会員自己紹介」

段 雅彦君

♪本日の歌 「君が代」「四つのテスト」

来週の予定

≪11月24日(木)例会 KKRホテル5階「瑞宝」≫

◎卓 話 「新入会員自己紹介」

山村忠弘君

松本隆司君

先週の出席者

≪10月20日(木)例会≫

会員数20名(内出席免除者数8名)

出席者数11名(内出席免除者数2名)

出席率 78.6%

≪11月07日(木)3クラブ合同例会≫

会員数20名(内出席免除者数8名)

出席者数8名(内出席免除者数3名)

出席率 53.3%

幹事報告

幹事 井上善博君

◎本日例会前に、定例理事会を行いました。

◎例会後、段君の新入会員オリエンテーションを行います。

◎16時より、東大阪東RC大橋ガバナ一年度準備委員会に出席してまいりました。

◎明日(11/18)、大阪RC創立100周年式典に田村会長が出席されます。

◎11/11(金)、教育講演会が枚岡中学校にて行われ、1万円の協賛金と表直前幹事に参加頂きました。有難うございました。

会長の時間(10/20)

会長 田村嘉宏君

食料争奪戦を激化させるウクライナ危機 → 奪い合いの時代

最近顕著になってきたのは、中国などの新興国の食料需要の想定以上の伸びである。コロナ禍からの中国経済回復による需要増だけではとても説明できない。例えば、中国はすでに大豆を1億300万トン輸入している(2021年)が、日本は大豆消費量の94%を輸入しているとはいえ、中国の「端数」の339万トン(2019年)に過ぎない。

中国がもう少し買い増しすると言えば、輸出国は日本に大豆を売ってくれなくなるかもしれない。今や、中国などの方が高い価格で大量に買う力がある。現に、輸入大豆価格と国産価格とは接近してきている。コンテナ船も日本経由を敬遠しつつあり、日本に運ん

例会場: KKRホテル大阪 Tel: 06-6941-1122

例会日時: 毎週木曜日 午後6時30分

事務所: 〒631-0001 奈良市北登美ヶ丘3-11-30

Tel: 0742-55-4869 Fax: 0742-51-1067 E-mail midorirc1126@gmail.com



でもらうための海上運賃が高騰している。日本はすでに「買い負け」ている。

また、我が国は化学肥料原料のリン、カリウムが100%輸入依存で、その調達も中国の輸出抑制で困難になりつつあった矢先に、中国と並んで大生産国のロシアなどで紛争が起こり、今後の調達の見通しがますます暗くなっている。リン鉱石の生産は1位中国、4位ロシア、カリウムは2位ベラルーシ、3位ロシア、4位中国である。

一方、「異常」気象が「通常」気象になり、世界的に供給が不安定さを増している。原油高がその代替品となるトウモロコシなどの穀物のバイオ燃料需要も押し上げ、暴騰を増幅する。

食料危機が迫る中、「食料安全保障」が欠落

これだけ食料や生産資材の高騰と中国などに対する「買い負け」が顕著になってきて、国民の食料確保や国内農業生産の継続に不安が高まっている今、前面に出てくるのが輸出振興とスマート化というのは、政府の危機認識力が欠如していると言わざるを得ない。輸出振興を否定するわけではないが、食料自給率が世界的にも極めて低い37%という日本にとって、食料危機が迫っている中、まずやるべきは輸出振興でなく、国内生産確保に全力を挙げることであろう。しかも、農産物輸出が1兆円に達したというのは「粉飾」で、本当に国産の農産物と言える輸出は1000億円もないとの試算もある（ウイスキーやコーヒー、チョコレート、みそ・しょうゆなど輸入原料に依存した加工食品が多い）。

輸入ありきの経済安全保障は破綻した政策

食料を巡る国際経済の中でどのように調達するかを考えているにすぎないように思われる。つまるところ、お金を出せば買えるのだから、その準備をしておけばよい、それが一番安くて効率的な安全保障だという考え方である。しかし、今まさに、それができなくなりつつあることが白日の下にさらされたのである。それを直視せずして安全保障の議論は成立しない。貿易自由化を進めて食料は輸入に頼るのが経済安全保障であるかのような議論には、根幹となる長期的・総合的視

点が欠落している。国内の食料生産を維持することは、短期的には輸入農産物より高コストであっても「お金を出しても食料が買えない」不測の事態のコストを考慮すれば、実は、国内生産を維持する方が長期的なコストは低いのである。目先の発電コストの安価しか見ていなかった原子力発電の取り返しの

国民全体で食料を守る意識

今こそ、食料の国内生産を維持・拡大するために、国民全体が考えよう。生産、流通、小売、消費、関連産業は「運命共同体」である。小売は買い叩きをやめよう。農家のコストを無視して小売が売値に合わせて卸売業者に産地価格を指示するのでは農家は苦しくなるに決まっている。農家がつぶれたら小売も持続できなくなる。消費者も「安ければよい」をやめよう。農家がいなければ食べるものがなくなる。生産から消費までのネットワークを強化し、「**今だけ、金だけ、自分だけ**」を脱し、「三方よし」の持続的循環経済を公共支援もセットで確立しよう。世界一過保護な日本農業という誤解が国民に刷り込まれてしまっているが、実態はまったく逆だ。米国では、コロナ禍による農家の所得減に対して総額3.3兆円の直接給付を行い、3300億円で農家から食料を買い上げて困窮者に届けた。日本はほぼゼロだ。そもそも緊急支援以前の政策として、米国・カナダ・EUでは設定された最低限の価格（「融資単価」、「支持価格」、「介入価格」など）で政府が穀物・乳製品を買上げ、国内外の援助に回す仕組みを維持している。これも日本にはない。さらに、その上に農家の生産費を償うように直接支払いが二段構えで行われている。これも日本にはない。この差もあまりにも大きい。つまり、本当は世界で最も手薄な保護で踏ん張ってきた日本の農家は「精鋭部隊」なのである。それでも、世界10位の農業生産額を達成していることに日本の農家は誇りと自信と国民を守る決意を新たにしてもらいたい。**農業に従事する人の平均年齢 → 平均年齢 67.7 歳**

引用 公益財団法人ニッポンドットコムが運営する非営利のオープン無料サイト



卓話抄録

「枚岡神社について」

表 孝典君

枚岡神社は遠い古代から河内国一の宮として尊崇を集めてきた官幣大社・枚岡神社は春日大社などと並ぶ社格の由緒のある格式高い神社です。枚岡神社の創建はなんと紀元前 663 年！国土平定を祈願したのが始まりで初代神武天皇が天皇に即位される 3 年前にできたと伝えられています。祀っている神様がのちに春日大社へ移されたことから、《元春日》とも言われる歴史ある神社です。2021 年に平成の大改修が完了しました。

枚岡神社の神様について

第 1 殿

天兒屋根大神（あめのこやね）

アマテラス大御神が岩戸に籠り天と地が闇に包まれたとき、祝詞（のりと）をあげた言葉の神様。

祝詞を読むとうっとりさせるほどの美声の持ち主。

第 2 殿

比売大神（ひめおおかみ）

天兒屋根命（あめのこやね）の奥様。

平和と愛の神様で、天美津玉照比売命（あまみつてるたまひめ）とされています。

第 3 殿

武甕槌大神（たけみかづち）

春日大社からこられた雷の神様。

かなりの暴れん坊で力強い武神でもあります！

第 4 殿

斎主大神（いわいぬし）

同じく春日大社より来られた刀剣の神様。

名前の由来は「鋭い剣でものを切り裂く」という意味！

第 1 殿と第 2 殿の神様は、のちに春日大社へ移されました。

第 3 殿、第 4 殿の神様は香取神宮・鹿島神宮の主祭神で、両方とも神様の世界でその強さが噂されるほどの武神たち。

以上の四祭神が祀られた枚岡神社のご利益をまとめると、国家安泰・家内安全・夫婦和合・開運招福・

安産・子授け・除災・商売繁盛・病氣平癒・元気回復・交通安全・必勝・厄除けとなり、まさに全ての願いを叶えてくれる最強の神社と言っても過言ではありません。

枚岡秋郷祭について

10 月 14・15 日五穀豊穰に感謝して行われる関西でも最大規模の秋祭です。

元々は山裾の枚岡でも祭りは「だんじり（地車）」が中心だったそうですが、明治 42 年に大阪電気軌道（のちの近鉄電車）が開通したことにより、「だんじり」では線路を渡ることができないため、高さ制限がなく行動しやすい「ふとん太鼓」に替っていったようです。

明治 35 年当時、6 台の「だんじり」に、2 台の「ふとん太鼓」だったそうですが、現在は 26 台の「ふとん太鼓」に対して、「だんじり」はわずか 3 台となっています。

太鼓台には、「大阪型」「淡路型」「堺型」「貝塚型」の四種があり「大阪型」は、布団の角度が小さく彫り物中心のふとん太鼓で土呂板や欄干、雲板（仏教寺院で時などを知らせるために打ち鳴らす銅か鉄の雲形の器具）にも彫刻がはいります。

その中でも雄太鼓（オンダイコ）と呼ばれるものは飾りが少なくシンプルですっきりしています。

「淡路型」の大きな特徴は五段のふとんの下に薄い板を数枚重ねたようなタガヤが施されています。

「太鼓台」は、組み立てからはじまって、担ぎ、解体するまでたいへんな作業ですが年上の者が下の世代に教え伝えることで地域の絆がつくられていきます。

各地の絆の深さは、まさにこの「秋郷祭」があるがゆえと思っています。

それほど、地元では誇りとされているお祭りです。





ガバナー公式訪問 ガバナー講話

ガバナー 宮里唯子様

今年度、当地区は大阪の地にロータリーが誕生し、100年と言う節目の年を迎えました。

一方、私達は世界的な感染症の蔓延、紛争や戦争と言った未曾有の不幸な現実を目の当たりにしています。

今世紀、当たり前だと考えていた平和や安全、健康がいかに脆弱で、また貴重なものだったかをあらためて気づかされました。

また、テクノロジーをはじめとする社会環境は待ったなしで変化や進歩を遂げ、企業活動のみならず、ロータリー活動にも革新的かつ柔軟な適応力が求められています。

100年もの間戦争や経済不況を乗り越え発展してきたロータリーの輝かしい遺産に思いを馳せながらも、これからどんなロータリーの姿を求め、実現していくのか、また喫緊の国際社会や地域社会の課題に会員としてどう向き合っていくのか、皆様と共に考えて参りたいと思います。

2022-23年度の国際ロータリーと当地区のテーマ、地区ビジョン、中期目標を御理解頂き、年次目標達成への御協力をお願い申し上げます。この達成こそが、おそらく未来のロータリーのあるべき姿への第1歩だと信じています。まずはやってみなければ、何も変わらないのですから…。

■ 2022-23 国際ロータリー ジェニファー・ジョーンズ会長のテーマと強調事項

➤ 会長テーマ：“IMAGINE ROTARY”

「世界にもたらせる変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力とつながりを生かしましょう。昨日のことをイマジン（想像）する人はいません。それは未来を描くことです。」

➤ 会長イニシアチブ:

「参加者の基盤を広げる DEI（多様性、公平さ、イン

クルージョン）」で、女性会員基盤の強化や、革新的クラブまたは活動分野に基づくクラブの設立を要請されています。

➤ テーマカラー:

紫・緑・白でそれぞれポリオ・環境・平和を意味しています。

■ 2022-23年度 第2660地区のテーマと地区ビジョン・中期計画・年次目標

➤ テーマ:

『大阪のロータリー100周年を祝おう』

各クラブはそれぞれのやり方で、100周年をお祝いして下さい。

➤ 地区ビジョン、中期計画、年次目標

地区研修・協議会の冊子やウェブサイトからご確認頂けます。



本日のお祝い

会員交流委員会

◎会員のお誕生日 11月19日 木戸章由君

◎奥様のお誕生日 11月29日 木戸加奈様

ニコニコ箱の報告

例会担当委員会

(10/20)

* 例会出席者全員からニコニコ頂きました。

本日合計 24,000円 今年度累計 164,000円

未来に向けて行動しよう



IMAGINE ROTARY イマジンロータリー

2022-23年度 東大阪みどりRCテーマ

IMAGINE
ROTARY

2022-23年度 国際ロータリーテーマ